

ADC-SiTCP 動作パラメータ設定

2013/11/25 第3版

内田 Esys, IPNS, KEK

適用

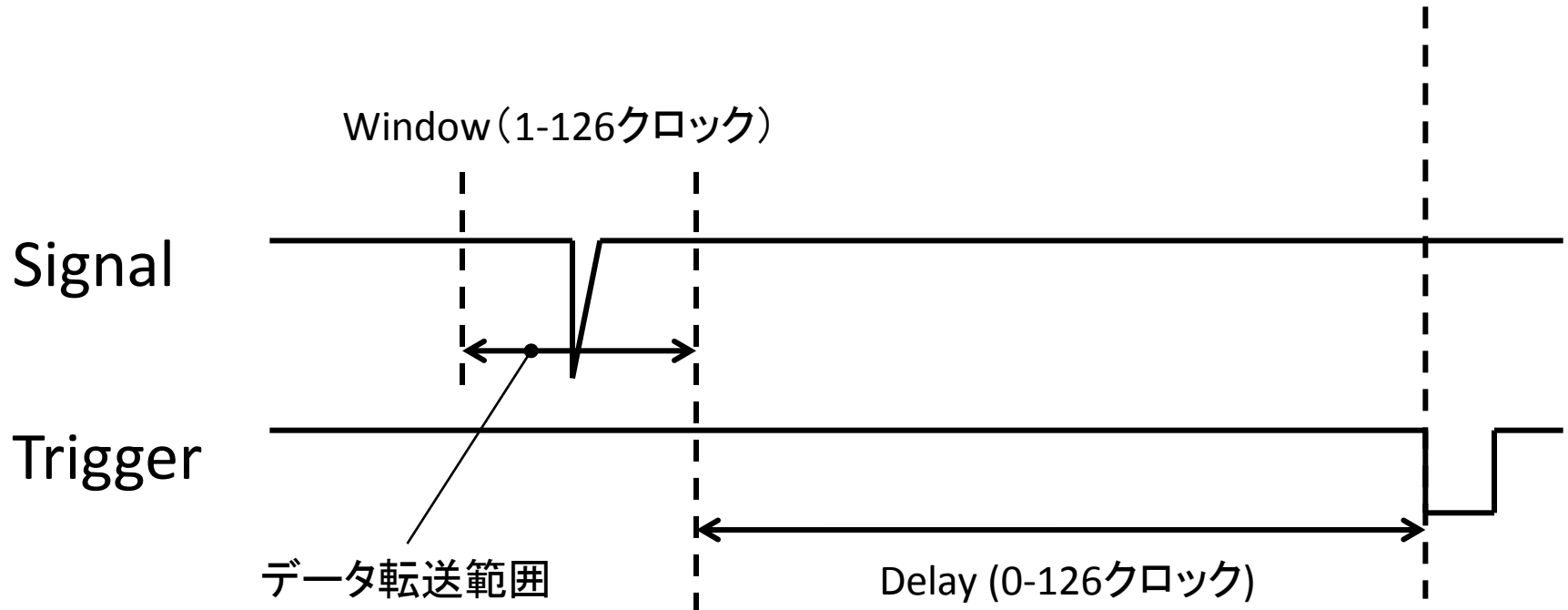
- ADC-SiTCP Ver.2ボード
- FPGA ファーム
 - Ver. 23以降
 - 合成番号 0x13112501以降

設定概要

- SiTCPのSlow Control機能であるRBCPを使用して設定する
- RBCPの詳細は下の説明書を参照
 - <http://e-sys.kek.jp/tech/sitcp/materials.html>
- アクセスするために使用するプログラムは上のWeb上の物かSoftware/setupディレクトリ内のコードを参照してください。これらの基本機能は同じですのでどちらを使用してもかまいません。

Window size, delay

Window size, Delay値はRBCP経由で設定可能



クロック数の単位はADCサンプリングクロック

レジスタマップ 1

RBCP Address	Name
0x6	Window size 設定値+1の幅(0-127の範囲で設定可能) (9を設定すると実際のサイズは10になる)
0x7	Delay(0-127の範囲で設定可能)
0xA-C	データパケットヘッダのID値 (デフォルト0x01234)

レジスタマップ 2

RBCP Address	Name
0x18-19	Self trigger enable セルフトリガ生成に使用するCHに1を設定する Bit0がCH0, Bit15がCh15に対応
0x1A-1B	Self trigger polarity 各CHの信号の正負を設定、正の時1を設定、負の時0を設定 Bit0がCH0, Bit15がCh15に対応
0x1C	Self trigger delay トリガ遅延を設定する。単位はADCサンプリングクロック 周期
0x20-21	Self trigger: ADC CH0 閾値 bit[11:0]のみ有効
:	
0x3E-3F	Self trigger: ADC CH15 閾値 bit[11:0]のみ有効